

No.87
2018
11/14



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



11月13日 全項目終了

八地申3号 中央快速線209系導入に伴う申し入れ

その2

3. エアセクションの取扱いにおいて、乗務員が通勤時間帯の混雑した車内を移動することは困難なことから、個別操作や遠隔操作ができるようにすること。

2・5・8号車のパンタグラフを運転台から個別に上昇させるスイッチを新設した。しかし、上昇検知は無いので、目視で見えない際は線路に降りて確認する事となる。

車内から引きひもでパンを上昇させることが出来るが、エアセクション時の取扱いについては別途指導する。

4. 乗務員室扉の位置が異なることから、I T Vの視認性を確保すること。

図面を基に現場を確認したが、上り4駅（三鷹・高円寺・新宿・御茶ノ水）・下り2駅（東京・立川）は若干の角度調整が必要と認識している。

運用開始前に車掌を乗せ、視認性を確認するかは検討していく。

2項での回答から
検討に変更!

5. 検修社員に対しての訓練計画を示すこと。

終日車両を使えるのは10日程度。余裕をもって訓練を行うために、状況を見ながら検討していく。

つなぎ図や取扱説明書など現場に必要な資料については調整し、用意していく。

6. 豊田車両センターでの機能保全体制を示すこと。また、モニタ装置がMON8であり作業量が増加することから、E233系よりも体制を厚くすること。

E233系と比較し作業量が増加する認識はあるが、同じ人数で勤務時間内に作業終了できる。

トライアル等を通じて慎重に判断していきたい。現場に合った体制をつくっていく。

部品調達については、必要なものを現場の声を聞き、準備していかなければならない。

作業量が増えるなら
要員を確保するべきだ!

不安なく業務に専念出来る職場風土を全組合員の声で創り出そう!